ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑの仲間たちによる「きずな 2006・ﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ大会」〈7/6（土）大垣ｺﾛﾅﾎﾞｰﾘﾝｸﾞ場〉

あゆみの家

Ｎｏ．１０２号

障害者差別解消法

二〇一三（平成二五）年六月一九日、共生社会の実現を目指した「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）」が、参議院本会議で可決、成立しました。この障害者差別解消法は、二〇一一年に改正された障害者基本法第四条の「差別の禁止」規定を具体化する法律として位置づけられ、六章二六条と付則から成っています。

差別を解消する措置としては、「差別的取扱いの禁止」と「合理的配慮の不提供」を置いています。前者は作為による差別に係るものであり、国・地方公共団体等と民間事業者の双方に対して法的義務を課しています。不作為による差別に係る後者に関しては、国・地方公共団体等に対して法的義務を課し、民間事業者には努力義務に留めています。

二〇一三年度中には、政府が差別解消の推進に関する「基本方針」を策定し、具体的にどのような行為が差別に当たるかについては、国の行政機関の長や地方公共団体の機関等によって作成される「対応要領」や、主務大臣が事業者に対して定める「対応指針」によって示されることになっています。

同法が施行されるのは二〇一六（平成二八）年四月一日からです。それまでの間に、「合理的配慮」等についての理解を深め、施行前の準備を進めていくことが必要となってきました。“違い”を理解し、優しく受け入れるような包容力のある成熟した社会になってほしいと願います。

社会福祉法人あゆみの家　〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原 2066-2 ／ TEL0584-22-4333（代）

飲むにも食べるにも　神の栄光のために

理事　名和　桂子

神様のお守りとお導きのもと、あゆみの家は四十三年目の歩みを続けています。いつも大勢の方々のお力とお祈りに支えられていますこと、本当に感謝です。利用者三名、職員二名から出発したあゆみの家の現在に至るまでの成長に神様の祝福の豊かさを思う者です。

最近私が気にしているのは、利用者の父兄や利用者ご本人がお亡くなりになられたりすることが続いている事です。又、理由はいろいろ違いますが、入院される方が増えている事です。施設が始まって四十二年、利用者の方々もお年を召されてきたんだなあと感じております。

中には人生の大部分をこの施設との関わりの中で生活をしておられる方もいらっしゃるわけですので、どのような生活を送っていただくのが一番良いことなのか私たちに求められている日々の課題だと思っています。「ここで良かった。楽しい。」と思っていただける喜びを創り出していく努力が求められていると思うのです。

その楽しみのうちのかなり多くの部分を食べることが占めていると思います。お年をめされて、普通食は食べられなくなり、刻み食、ミキサー食、ペースト食等々、その方の摂取状況に合わせた対応が求められることがだんだんと多くなってきています。

私自身、常日頃、「食べる」ということを人間の基本中の基本で、体を育てると同時に心も育てるものだと考えております。食事をいい加減にすると心も支えられなくなる、そんな例をいくつか見聞きしています。一生続く「食べる」という行為、「何を食べるのか」、「何のために食べるのか」お若い人もおいそがいしい人も、お年を召された人も今一度振り返って見直すことが大事だと思います。

特に摂取がむつかしくなられた方々の食事をいかに楽しく喜んで食べていただけるか？これからいろいろな工夫が必要だと思います。この間、ラジオの放送である施設が紹介されて、認知症があってよく誤嚥する方が、「大好きなメロンを食べるときは、少しものどをつまらせることなく、うれしそうに食べられるんですよ」とそんな話をされていました。今、介護食の研究も進んでいますが、コストの面での課題も確かにあります。しかしながら、一生続く「食べる」ということが、いかに楽しみであり満足いくものにしていくのか、食事の内容だけでなく、それを取り巻く器や楽しい環境等々、いろいろと取り組んでいく沢山の課題が与えられています。できることから一つ一つ解決していき、利用者ひとり一人の、より豊かな食生活が実現することを願います。

地域とつながる～「たいやきくん」の活動から～

デイセンターあゆみの家　生活支援員　田代　美佳

缶とペットボトルだらけ・弁当箱ばっかり
タバコの吸殻いっぱい・布団まである
靴・傘・蛍光灯・ストーブのタンク・・・

清掃作業中はびっくりすることがいっぱいです。

もったいない・なぜすてるんだ。
どうやったらごみを捨てないかな。
次はどこの掃除をしますか？

社会で生活するために必要な知識や経験を自分たちの力で学んでいく「たいやきくん」の活動。関ヶ原町をきれいにしようと清掃活動を始めて一年がたちました。一人の住民として地域での、あたり前の体験を重視し、社会的役割を果たすための第一歩となるような活動に取り組んでいます。メンバーはこの活動の中で「生き生き」と輝き、自分で考え、行動していると感じさせられます。

こんにちは・いつもお世話になってます
今日は○○の掃除をしてきました
ごみがいっぱいでした
また掃除をがんばるのでお願いします
広報に載せてくれてありがとうございます

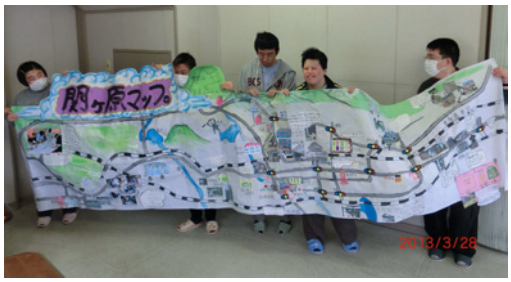
掃除後は、町役場にごみを引き渡しに行きます。担当者の方とは皆さん、気さくに話される姿があります。今年、三月には関ヶ原町の広報に「たいやきくん」の活動が取り上げられ、この活動を地域の多くの人に知ってもらえる機会を得たと共に、メンバーの自信と意欲の向上、そして保護者の皆さんからも活動への応援の言葉が寄せられることとなりました。

いつもありがとうございます
缶が少ない時（冬）ももらえて、うれしいです。
あゆみの家に遊びにきてください

五月、いつも空缶を持ってきてくださる地域の方へ、お礼状を届けに行きました。缶作業をしている利用者の写真とメッセージ入りのお礼状を手作りし、直接手渡し、積極的な関わりをもつことができました。感謝の気持ちを伝えることで人とのつながりができることを知りました。

地図作りをして、自分の住む町が自然がたくさんあることがわかった。関ヶ原の掃除を続けていきたい。垂井町も掃除したい。近所の人と知り合いになりたい。広報に載って、役場の人に「ありがとう」と言われたのでうれしかった。

一人ひとりの言葉に支援者が感動させられます。
今年度の「たいやきくん」の活動にこれらのメンバーの意見を反映させていこうと、清掃活動の継続と新たな試みをしています。
関ヶ原での活動をまとめた関ヶ原マップはただいま、役場の方と展示場所の話し合い中です。
この活動の成果を知ってもらい「たいやきくん」のメンバーが・・あゆみの家の利用者が・・地域とつながり、地域力を生かせるような関係を作っていけるよう支援者も日々実践していきたいと思います。



※□は、利用者のみなさんの声です。

「てづくり」のおいしさ　～ぐっどらんど～

今回は、ぐっどらんど職員の林美納子さんにインタビューをしました。

―今回は、林さんにぐっどらんどの魅力を語って頂きたいと思います。

林　よろしくお願いします。

―ぐっどらんどといえばクッキーですが、こんなにたくさんの種類があるんですね。

林　はい。皆さん、ご存じの通り、チョコチップ、アーモンド、ココア、シュガー、オートミール、レーズン、クランベリー、ごま、そばの９種類あり、１袋１００円と、お手頃な値段で販売しています。

―では、その中でも林さんのおすすめは？

林　おすすめは全部です(笑)　実は、ぐっどらんどの商品は日々進化していて、これまでにメンバーと一緒に色々な商品を開発してきました。クッキーだけでなく、「ケーキ」、今の暑い季節には「ゼリー」「わらびもち」なども作っています。

―わらびもち、夏にぴったり！当然、味にも相当のこだわりがあるんですよね？

林　もちろん、全て手作りで、味にもとてもこだわっています。一度食べていただいたお客様は、リピーターになられる方が多く、いろんな方に愛されています。

―それで、先ほどからもお客様が続々来店されているんですね。

林　おかげさまで、お店は、特に夕方、地域の子どもたちで賑わいます。

わらびもち　１００円

お店だけでなく、県庁、ふれあい会館、大垣女子短大、不破の関病院、その他近辺の企業でも販売をしています。

―地域の方々の憩いの場になっているんですね。昔の駄菓子屋さんみたいな・・・

林　私は駄菓子屋のおばちゃんですから(笑)　また、大垣市内の様々なイベントなどにもたくさん声をかけていただいて、クッキーを作る作業だけでなく、販売にも出かける事が多く、忙しい毎日を送っています。

―販売にはメンバーも一緒に行かれるんですよね？

林　もちろん！実際、お客様を相手にして、本当にやりがいを感じられるよい機会です。こらからも、たくさん販売する機会が増えるといいなと思います。

―お店や出張販売以外でもぐっどらんどの商品は購入できますか？

林　現在は、アクアウォーク（ふ○り）、養老サービスエリア（名鉄レストラン）、イオン大垣（わくわく広場）、ＪＡ養老、太陽旬菜倶楽部（神戸町）、とうだいまえなどにクッキーを納品しています。いろんな場所で、ぐっどらんどの商品を見かける事ができるので、ぜひ探してみてください。

―ありがとうございました。最後に読者の皆様に一言お願いします。

林　いつも、ぐっどらんどのクッキーをお買い上げ頂きありがとうございます。また、ぐっどらんどのお店にぜひお越し下さい。甘いにおいと、元気で明るい、ぐっどらんどの仲間がお待ちしております！

［聞き手　古川泰宏職員］

（上段左から）
オセロ、オレンジ
（下段左から）
マカロン、オセロ
抹茶、ルシアン
各２００円

※商品の内容はホームページにものっています。

ぐっどらんど　〒503－0984　岐阜県大垣市綾野5－47－2　／　TEL0584－92－2799

安心 安全な暮らしを支える

きずな2006　生活支援員　砥石　知佳

現在、きずな２００６（事業所）では十ヶ所のグループホームで四六名の利用者の方が生活されています。この内四四名の利用者の方が何らかの理由において通院・服薬をされてみえます。昨年度の医療状況においては、年間通して延べ1,219回の通院を行っています。一日当たり平均3.3回の通院回数です。また年間を通して四名の利用者の方が何らかの理由で入院治療を行いました。

昨年度、高齢の利用者の方が突然、日帰り旅行のバスの中で、意識を失い重篤な状況になられるということがありました。幸い、その方は病院に緊急搬送後、意識を取り戻し、回復されたため大事には至りませんでしたが、医療体制充実の必要性、また緊急時における医療処置判断等の重要性を改めて強く感じる出来事となりました。利用者の方の生活を支えていく中で『医療』は大きな柱となります。そして、現場では専門的な医療知識が様々な場面で、とても重要となってきます。

今年度より、当事業所に看護師が配置されました。通院、利用者の方の健康管理と薬の管理、また通院の判断等、医療に関わる支援について専門的な知識を持った方が入られたことにより、より一層医療体制の充実が図られました。

看護師さん、お腹が痛いんやけど。」　「歯が痛いでちょっとみてもらえる？」「私の次の通院いつ？」・・・毎日の朝の光景です。利用者の方も、看護師さんがいてくれるから安心！」と自分の体のことについて看護師に懸命に伝えておられます。しかし、言葉で、自分の状況を伝えることができる利用者の方ばかりではありません。また、痛みを我慢され、「痛くない！大丈夫！」と言われる方もおられます。そこで、私たち支援員には、いかに利用者の異変に気付くことができるかという点が求められてきます。世話人さんと連携をとりあいながら普段と少しでも違った状況はないか？【体温、血圧、食欲、排便等】を確認し、疾病の早期発見・早期治療を心がけています。

『きずなの集い』
大垣フォーラムホテルにて

ホームの暮らしを支えるスタッフ一同、今後も研修や勉強会等を通して医療に関する学びを深め、支援スキルの向上を目指していきたいと考えています。また生活習慣病やその合併症のリスクを抑えるために、食生活の改善等の予防的な措置も必要になってくるため、栄養士さんとの連携も図り、毎日を健康で送って頂けるように努めていきたいです。

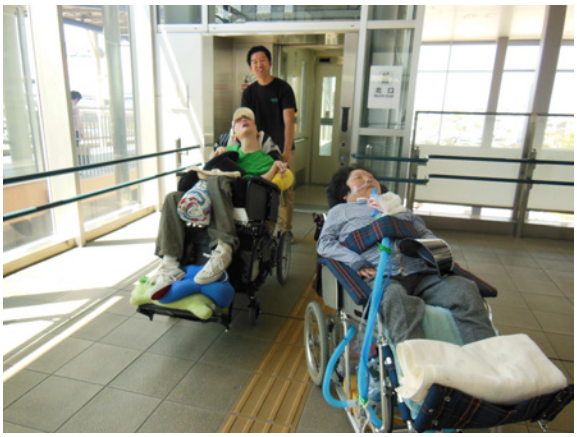
安らぎある穏やかな暮らしのためには“健康”は大きな軸となってきます。これからも利用者の方の、笑顔溢れる毎日のために、日々の些細な変化を見逃すことなく、安心・安全な暮らしを支えていきたいです。

出来事ピックアップ

第二あゆみの家
高田祭り招待（５／１８）

ぐっどらんど
神戸のバラ園（５／１８）

第二あゆみの家
花いっぱい運動（６／３）



林町デイセンター
電車で岐阜まで外出（５／２３）

デイセンターあゆみの家
日帰り旅行　三方五湖（６／８）

オリーブ
牧歌の里親子外出（6/7）

社会福祉法人あゆみの家 二〇一三(平成二四)年度 決算報告

社会福祉法人あゆみの家では、二〇一三年五月一八日、決算理事会が開催され、二〇一二年度事業報告、及び決算が承認されました。その決算内容を報告いたします。

二〇一二年度は、四月から、デイセンターあゆみの家、ぐっどらんど、すまいるらんどが障害者自立支援法の新事業へ移行しました。

また、七月には大垣市内の船町に「とうだいまえ」(生活介護事業所)が開始し、喫茶店と、リサイクルの店として、オープンしました。

一年を通して各施設・事業所の活動が滞りなく実施できましたこと、皆様のお祈りとご支援に感謝申し上げます。

貸借対照表

2013(平成25)年3月31日現在

(単位:千円)

資産の状況	資産の部	決算額	負債の部	決算額
	流動資産	259,449	流動負債	33,836
	固定資産	1,102,305	固定負債	72,244
	基本財産	480,549		
	他の固定資産	621,756	負債の部合計	106,080
			純資産の部	
			基本金	247,662
			国庫補助金等特別積立金	206,619
			その他の積立金	533,744
			次期繰越活動収支差額	275,156
			純資産の部合計	1,255,673
	資産の部合計	1,361,754	負債及び純資産の部合計	1,361,754

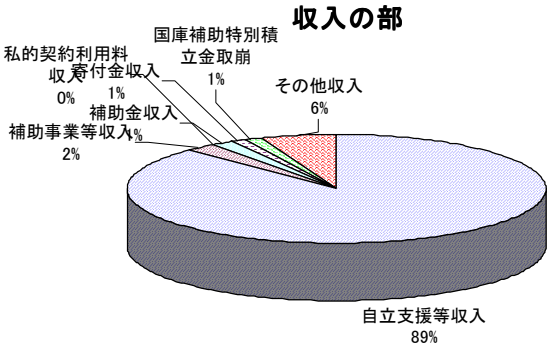
事業活動収支計算書

2012年4月1日～2013年3月31日

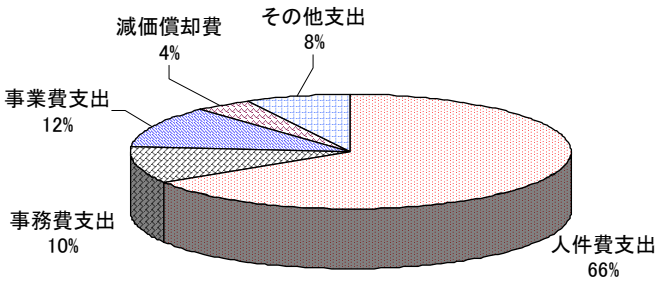
単位　千円

	勘定科目	決算額	本部	デイセンター	ぐっどらんど	すまいるらんど	第二あゆみ	オリーブ	おおぞら	きずな2006	移動支援	相談支援	林町デイ
収入	自立支援等収入	642,657		108,921	33,651	28,821	269,343	12,773	5,983	125,972		1,239	55,954
	補助事業等収入	17,965		1,017			7,495		129	6,050	3,066		208
	私的契約利用料収入	1,139							1,139				
	経常経費補助金収入	7,675					6,500	975					200
	施設整備補助金収入	2,879											2879
	寄付金収入	8,423	8,093	78	27	22	86	5		80			32
	施設整備等寄付金収入	0											
	退職給与引当金戻入収入	25		25									
	国庫補助特別積立金取崩	10,385		4,022			3,403		125				2,835
	その他収入	43,191	2,499	1,029	4,888	17,090	3,276	5,535	7,791	27			1,056
	収入合計	734,339	10,592	115,092	38,566	45,933	290,103	19,288	15,167	132,129	3,066	1,239	63,164
支出	人件費支出	420,526	310	63,031	21,440	25,240	165,424	13,529	13,549	79,582			38,421
	事務費支出	65,670	4,219	9,400	3,897	6,310	27,683	1,987	978	7,302			3,894
	事業費支出	75,213		8,012	6,447	6,242	26,010	1,216		24,012			3,274
	減価償却費	24,942		6,796	48	550	10,773	677	518	1,099			4,481
	引当金繰入	14,448		2,370	809	658	7,255	467	490	1,229			1170
	その他支出	35,815	3,000	19,539			5,168			1,368	2,791	856	3093
	支出合計	636,614	7,529	109,148	32,641	39,000	242,313	17,876	15,535	114,592	2,791	856	54,333
	当期活動収支差額	97,725	3,063	5,944	5,925	6,933	47,790	1,412	△ 368	17,537	275	383	8,831

収入の部



支出の部



第二あゆみの家　〒503－2123　岐阜県不破郡垂井町栗原2034－1／TEL0584－22－4333

行事予定

8／　3(土)　合同職員研修会
8／10(土)　夏祭り

最近のできごと(4／1～7／20)

4／　6(土)　　創立記念行事
4／27・28(土/日)　あゆみの家バザー
5／11(土)ソフトボール交流試合
　　(第二あゆみの家、きずな2006)
5／18(土)　バーベキュー(デイセンター-あゆみの家)
5／18(土)　神戸バラ園へ外出（ぐっどらんど）
5／23(木)　岐阜まで外出（林町デイセンター）
5／31(金)　日帰り旅行(すまいるらんど)
6／　3(月)　花いっぱい運動(第二あゆみの家)
6／　7(金)　日帰り旅行(オリーブ)
6／　8(土)　日帰り旅行(デイセンター-あゆみの家)
7／　6(土)　ボーリング大会(きずな2006)

ボランティア(2／16～6／20)

延べ：　28回　65人
　　(団体：43人・個人：22人)

<ボランティア団体名、学校名>
(順不同) 養老日赤/美容奉仕/理容奉仕
大垣女子短期大学/大垣桜高等学校/合原小学校

共同募金　配分事業

今年5月、岐阜県共同募金会より配分を受け、「ぐっどらんど」で使用する車両を購入することができました。
多くの方のお気持ちが1台の車になりました。

あゆみの家バザーの会計報告と御礼

4月27．28日の両日、垂井町文化会館で行われたバザーについて、ご報告をします。
売上げ額　1，050，876円
皆様方の御働きとご協力に心より御礼申し上げます。これからも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

野菜作りはじめました！（第二あゆみの家）

編集後記

今年は、梅雨が例年よりずいぶん早く明け、梅雨明け後連日猛暑日が続いています。毎日、熱中症で多くの方が倒れ、ニュースになっています。あゆみの家の入所施設「第二あゆみの家」でもご高齢の方が多くなり、熱中症対策に日々注意を払っています。一方、猛暑で電力使用量が非常に多くなる時期ですが、節電、節電の声はほとんど聞こえなくなりました。参議院選挙で、原子力政策も争点となっていますが、今の与党の政治は次第に原発再稼働の方向へ流れているように思います。現在、猛暑の夏にあっても十分な発電量が確保されているわけですから、原発が無くなっても大丈夫なはずです。一方で、原発が減り火力発電所が多くなることは、地球温暖化を進めることになってしまいます。東日本大震災から2年4ヶ月、このことを真剣に考え、日本がどちらへ向かっていくのか、注視しなければなりません。　(小林)

編集：社会福祉法人あゆみの家　　URL http:/www.mirai.ne.jp/~ayumi
〒503－2123　岐阜県不破郡垂井町栗原2066－2　　E-mail　ay464h@he.mirai.ne.jp
Tel0584－22－4333 (代)　FAX0584－22－4344

各種地域ホームのご案内　　●○グループホーム・ケアホーム

● あゆみホーム	○めぐみホーム	●荒尾ホーム	○ 岩手ホーム	● いなばホーム
Tel 0584－82－3056	Tel 0584－22－4345	Tel 0584-91-2871	Tel 0584－22－3032	Tel 0584－92－0792
●青柳ホーム	○ 静里ホーム	● 表佐ホーム	○ 大門ホーム	● あいかわホーム
Tel 0584－89－6231	Tel 0584－92－2405	Tel 0584－23－3305	Tel 0584－22－5079	Tel 0584－23－0822

林町デイセンター　〒503-0015 岐阜県大垣市林町7丁目142－1 ／TEL 0584－47－9920